

# 医・工・デザイン連携グローバルアントレプレナー育成プログラム



## iKODE (医・工・DEsign)

国立大学法人 滋賀医科大学



## 医療イノベーションの実現に向けたノウハウ・知識とネットワークを習得

iKODEプログラムは、滋賀医科大学と、医療分野への進出に意欲的で多様な分野の機関で構成する「しが医工連携ものづくりネットワーク」(事務局:公益財団法人滋賀県産業支援プラザ)とが連携し活動してきた実績を活かして医療ビジネスのイノベーションにつながる起業家(広義では研究成果を実用化するための社会貢献活動を牽引できる人材)育成のため、外部連携機関とともに、発想力を高めるデザイン思考を通して、医療ビジネスに取り組むために必要な知識やネットワーク構築をサポートするグローバルアントレプレナー育成プログラムです。

プログラム受講対象者: 社会人、若手研究者、大学教職員、大学院生、学部学生等広く求めます。

2016年度プログラムオリエンテーション:

5月初旬(於:滋賀医科大学)開催予定です。ご要望があれば説明に伺います。

お気軽にお問合せ下さい。《iKODEプログラム事務局 ikode@belle.shiga-med.ac.jp》

プログラム期間と内容: 2016年5月~2017年3月

下記セッションごと、ご希望に合わせて受講いただけます。

iKODEWebsiteで  
随時受講受付中



### 《医工連携マネジメントを基礎から応用までを学習》



月1回程度、立命館大学大学院テクノロジーマネジメント研究科を中心とした教員を招き、医工連携に必要なマネジメント講座を開催しています。本講座ではものづくりマネジメントの基礎を学び、ケーススタディなどを通じ医工連携におけるマネジメントの課題やその克服法などを議論し、医療機器産業に特有の課題の検討を行います。

課題名: 医工連携戦略  
財務戦略 他

### 《医療従事者のニーズや現場の課題の検討、薬事相談》



1~2か月に1回程度、しが医工連携ものづくりネットワークと共同で、本ネットワーク会員を対象にした「医療機器開発セミナー」を開催しています。本学の医療従事者を講師として、専門領域における医療の現状と課題のプレゼン及び参加者による自由な質疑応答ができます。これまで2回(「内視鏡医療の課題と求められる医療機器」「睡眠疾患の症状評価・診断法の確立」)開催しました。また、医療機器開発に向けて、臨床研究開発センターでは薬事を含めた相談等も行っております。

### 《医学部・医学系研究科科目の一部受講が可能》



本プログラム受講生は滋賀医科大学医学部の「医学特論」や医学系研究科医学専攻「学際的医療人コース」の一部の科目(iKODEプログラムとの提携科目)などを受講することができます(単位認定なし)。医学(医療)領域における工学教育、知的財産戦略などより高度な知識を習得できる講義が構成されています。例)医療イノベーション概論

### 《臨床研究に必要な不可欠な知識を多角的にマスター》

滋賀医科大学医学部附属病院 臨床開発研究センターが企画する治験を含む臨床研究・先端医療の支援のための「人を対象とする医学系研究に関するセミナー」(2015年度20回以上開催)と共催で、医工連携推進に必要な知識を提供しています。  
例: 疫学・臨床研究と知的財産、レギュラトリーサイエンス講座



### 《アイデア発想法習得のワークショップ》



EDGEプログラム採択校である慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科で快活された「SDM(システム思考×デザイン思考の方法論)」と東京大学i.schoolでも採用しているイノベーションへのアプローチの1つ「人間中心イノベーション」をアイデア発想の中心に据え、医工連携における医療機器開発を中心とした課題を解決方法を習得するため、ワークショップを実施します。

iKODEプログラム

デザイン思考

医学  
(医療)

工学  
(工業)

レギュラトリーサイエンス

アントレプレナーシップ

### 《海外のアントレプレナーシップ教育を受講》

滋賀医科大学の協定校の一つオタワ大学(uOttawa)等の海外の優れたアントレプレナー育成プログラムや医工連携に関するデザインワークショップ(Maker Space)を受講することで、バイオデザイン(医療や生命科学分野における機器・器具の設計やものづくり)の考え方を理解することを旨とした海外研修(一週間程度)を実施します。



### 《異業種と交流: アイデア・コンペ参加》



iKODEプログラム受講生以外の方との他流試合を通じて、アイデア創造を行ない、ネットワーク形成をする機会を積極的に設けています。例えば、ヘルスケアハッカソン(ヘルスケアハッカソン運営委員会: 代表 古川由己氏)に参加して、お題に対して2日間でアイデアをまとめる作業を行ないました。この他、アイデア・コンペに参加しながら、ビジネスにつながるようなアイデア・創出を実践します。

### 《産学官連携促進シンポジウムでネットワーク拡大》

2015年度は、しが医工連携ものづくりネットワークとの共同事業として、医学(医療)・工学(工業)・デザイン思考の多角的な視点による医療機器開発の視点を育むことを目的とした「医工Deシンポジウム」を開催しました。産学官それぞれの立場からご講演いただき、相互理解、連携促進へ役を担いました。2016年度はiKODEプログラム事業最終年度として成果発表・報告会を開催します。



iKODE(イコーデ)は、i(医学)KO(工学)DE(デザイン)という言葉を組み合わせて、「高みに行こう(ぜ)(イコーデ)！」という想いが込められています。またこのマークには、医学・工学・デザインの3者がひとつになることをイメージし、人が中心であることを表しています。そして斜めに突き出た四角は医療のメスのシャープさを表し、全体として医療分野においてクリエイティブな人材育成をおこなうプログラムをイメージしたデザインとなっております。

